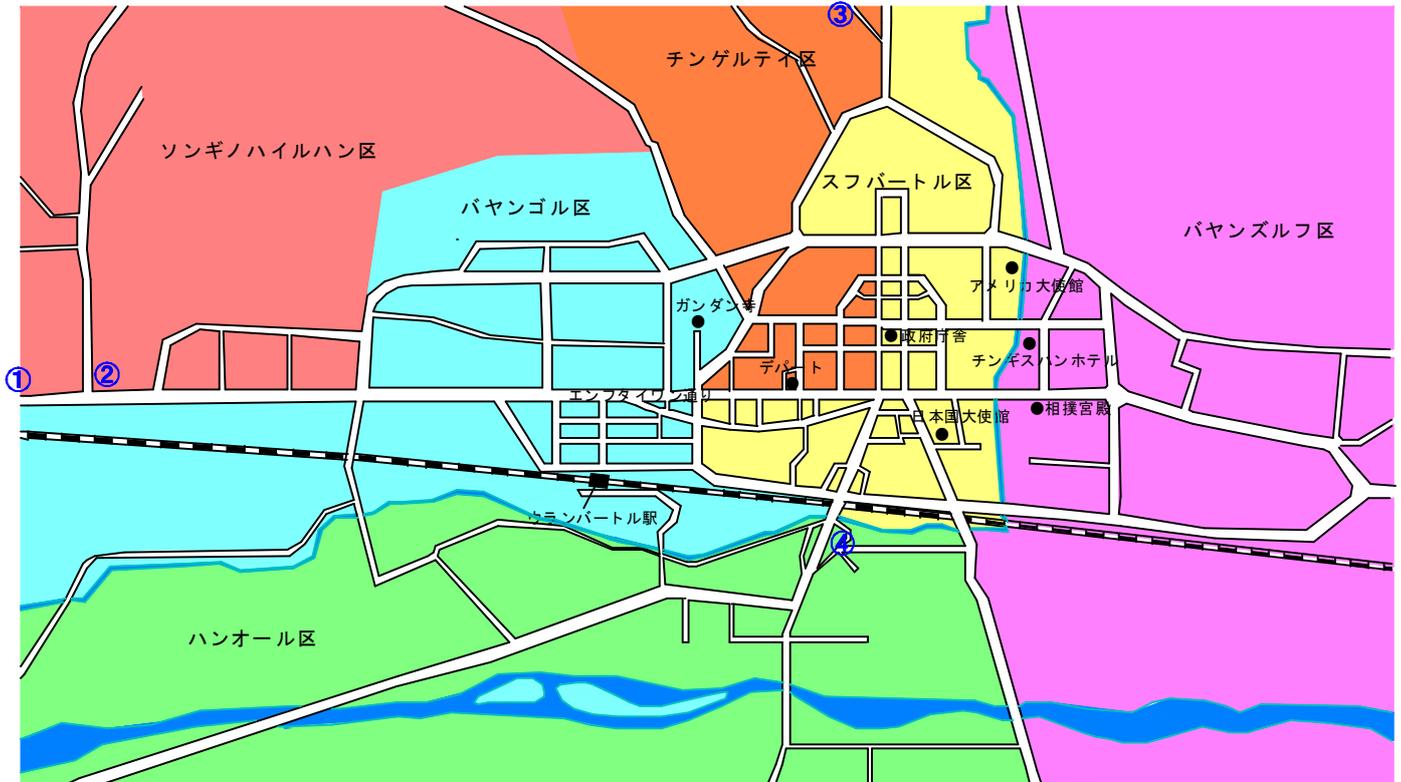


# UB CITY 安全情報 (平成28年1月号)

昨年12月中のウランバートルにおける邦人被害状況及び当地新聞に掲載された主な事件・事故を地図上に表しています



## ※邦人被害状況 (大使館調べ)

事件発生日時	事件発生場所	被害状況
(届出なし)		

## ※当国新聞掲載事件・事故

掲載日 (任国新聞)	場所	被害者 (性別・年齢)	犯人 (性別・年齢)	被害状況
① 12月9日 (水)	ソンギノハイルハン区第22ホロー	B	女性 (25-30歳)	人質未遂 (自宅を医師を装った女が訪れ、子どもを人質にして金を要求したが、Bが子どもを奪い返して未遂に終わった。)
② 12月14日 (月)	TDB銀行タウンシャル支店	銀行	B (30歳), E (23歳)	銀行強盗 (男性2人組が銀行内で天井に向けて発砲し、3億8千万トログを奪って逃げた。)
③ 12月17日 (木)	チンゲルテイ区第15ホロー	犯人の妻	E	殺人 (夫が妻を殺害し、車のトランクに死体を入れて運んだ。)
④ 12月28日 (月)	ハンオール区第1ホロー	インド人僧侶	N, Eら	強盗 (メンテナンス業者を装った男らが家に侵入し、現金、仏像、携帯電話等を奪って逃げた。)

## 事件発生場所集計 (未遂含む)

	殺人	屋外強盗	屋内強盗	屋外窃盗	侵入窃盗	暴行・傷害	詐欺	強姦	その他	合計
スフバートル区										0
ソンギノハイルハン区									1	1
チンゲルテイ区	1									1
ハンオール区			1							1
バヤンゴル区										0
バヤンズルフ区			1							1
合計	1	0	2	0	0	0	0	0	1	4



## 【アドバイス】

- ・ 昨年中のモンゴル国内の犯罪認知件数は27,757件で、前年比1.6%増加となっており、治安情勢は悪化傾向が続いています。経済の低迷等で社会の不満が高まると、治安情勢は悪化しやすく、外国人が不満の矛先となることもあり得ます。日頃から危機意識を持ち、危険が予測される場所や人には近づかないことを心がけましょう。